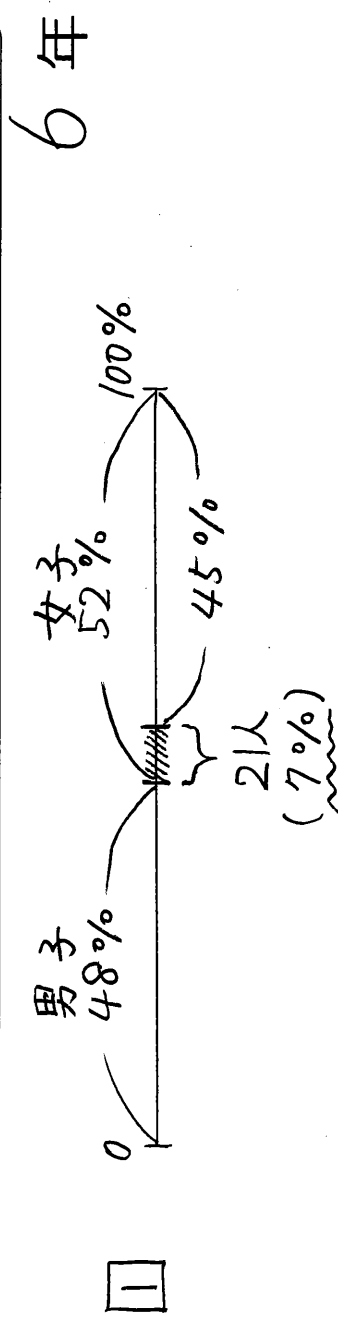


せんせい さんすう もんだい かいせつ
イズム先生の 算数チャレンジ問題解説!



男子が48%ということは、女子は52%です。

女子は45%より21人多いので、 $(52 - 45 = 7)$ 7%が21人
ということになります。

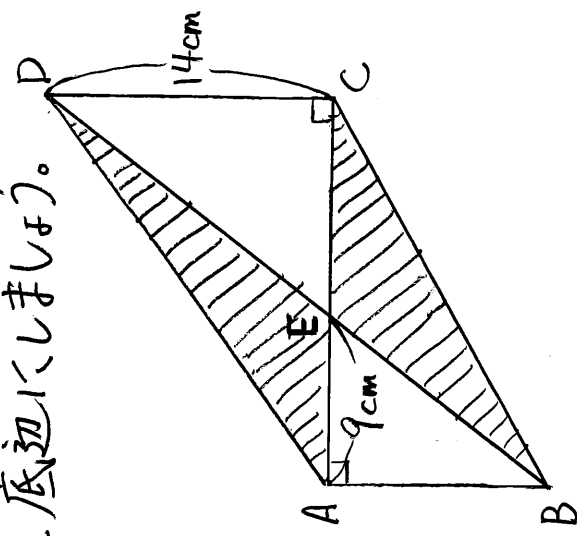
$$\frac{(\text{くらべる量}) \div (\text{割合}) = (\text{もとにする量})}{21人 \quad 0.07 \quad \text{全体}}$$

$$21 \div 0.07 = 2100 \div 7 = 300 \quad \underline{\underline{300人}}$$

2 この紙を右に90°回転して、CDを底辺にしましょう。

(△→「三角形」読みかた)

△ACDと△BCDは、
とちらも「底辺」がCD
にたがって「面積」が等しい
です。△ECDはとちら
の三角形にも共通の
で、△ECDを取りのぞいた
△EBCと△EADは、面
積が等しくなります。



よって△EBCの面積を求めるには、△EADの面積を求めればよいので、

$$\triangle EAD = \triangle EAD = \text{底辺} \times \text{高さ} \div 2 = 63$$

△EADの
底辺 高さ 63 cm²

イズム先生の 算数チャレンジ問題解説!

6年

③ ひ算することを考えましょう。

$$\begin{array}{r}
 \begin{array}{c}
 \text{十の位} \\
 A \\
 + \\
 C
 \end{array}
 \begin{array}{c}
 \text{一の位} \\
 B \\
 + \\
 D
 \end{array}
 \begin{array}{c}
 \text{\frac{1}{10}の位} \\
 C \\
 + \\
 A
 \end{array}
 \begin{array}{c}
 \text{\frac{1}{100}の位} \\
 D \\
 + \\
 B
 \end{array}
 \\
 \hline
 \end{array}$$

十の位の数と $\frac{1}{10}$ の位の数
 一の位の数と $\frac{1}{100}$ の位の数
 は、同じ数になります。

しかし、①～⑥の答えを見ると、 $\frac{1}{10}$ の位、 $\frac{1}{100}$ の位はなくなっています。(整数になっている)

$$\begin{array}{r}
 A \cdot B \cdot C \cdot D \\
 + C \cdot D \cdot A \cdot B \\
 \hline
 0 \cdot 0 \cdot 0 \cdot 0
 \end{array}$$

↑ ↑
 くり上がり
 があるはず

小数点以下が0になったと
 いうことですが、くり上がりがあるはずなので、一の位は1と分かります。

$\frac{1}{10}$ の位から、C+Aで0が出るはずなので、
 十の位の A+C も くり上がり があって0が
 残ると考えられます。

イズム先生の 算数チャレンジ問題解説!

6年

④ 7月は、7月21日～31日まで11日間。
8月は、8月1日～31日まで31日間。

夏休みは合計42日間になります。

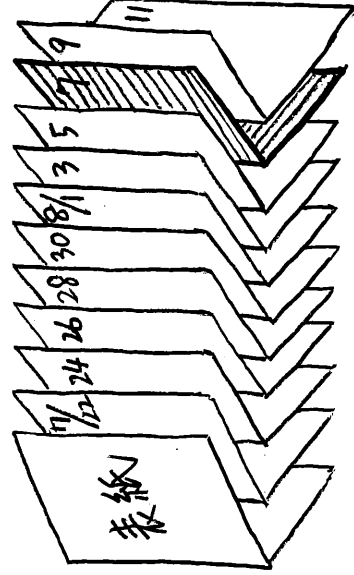
- (1)・表紙の紙の内側には7/21と8/31の2日分書けます。
・表紙以外の紙には、表に2日分、裏に2日分の合計4日分書けます。

$(42 - 2 = 40)$ 40日分を表紙以外の紙に書くので、

$(40 \div 4 = 10)$ 10枚の紙が必要で、

表紙の1枚と合わせると11枚になります。

(2)



8/8は夏休み19日めです。表紙の内側に書く7/21をのぞいた18日間の最後^{表紙}なので、

$18 \div 2 = 9$ $9 + 1 = 10$

表紙から数えて10枚めの紙の内側の左側に書くことになり、残ったのは11枚めの紙1枚で、この紙には4日分の日記(8/9~12)が書かれて、その次の日、8/8の日記の紙の右側に書かれることになり、

よって、 $8 + 4 + 1 = 13$

8/8 11枚めの4日 次の1日

8月13日 //